

2016年9月27日

2016年JAF全日本ラリー選手権第7戦ラリー北海道

## SARD with LUCK RALLY TEAM

## DAY 1 離脱も DAY 2 で復活、北の大地で豪快な走りを披露

過酷な苦難のラリーで3つのステージセカンドベストをマーク



9月23日(金)～25日(日)に北海道帯広市を中心に開催された2016年JAF全日本ラリー選手権(JRC)第7戦「15th Rally Hokkaido 2016」にヘイキ・コバライネン/北川紗衣選手組(GREAT DRIVE SARD GT86 R3)が参戦。初日23日(金)夕刻に行われたDAY1AのSS1で4番手タイム。24日(土)に行われたDAY1B、マッディでスリッパリーなターマックステージのSS2にてコース脇のガードロープ支柱にヒットしてストップ。ダメージが足回りにまで及んで自走不可となり、競技から離脱を余儀なくされた。そして25(日)DAY2にメカニックの懸命な修復作業により復活。3つのステージでセカンドベストタイムをマークするなど、北の大地でFR車のGREAT DRIVE SARD GT86 R3を豪快に操る華麗な走りを披露した。次戦ターマックラリーとなるJRC第8戦「第44回M.C.S.C.ラリーハイランドマスターズ2016 Supported by Sammy」(10/14-16開催)で雪辱を果たすべく、参戦準備を進めていく。

## ■2016年JAF全日本ラリー選手権(JRC)第7戦「15th Rally Hokkaido 2016」参戦結果

- ・参戦結果 : JN-5クラス D.N.F
- ・ステージ記録 : ステージ2nd : 3回、4th : 1回
- ・車両名 : ゼッケンNo.62 GREAT DRIVE SARD GT86 R3      タイヤ : ダンロップ
- ・ドライバー : ヘイキ・コバライネン/コ・ドライバー : 北川 紗衣

## ■デイ1 A

23日(金)小雨の降る中、9時から帯広市内の三洋興熱スーパーピット中央店にて行われた公開車検で、各種検査をまずは無事に合格。15時45分から帯広市愛国町の北愛国交流広場に設置されたサービスパーク会場にて行われたラリーショー・サイン会では長蛇の列ができる注目の的となった。17時からセレモニアルスタートが小雨の降る中、華やかに開催され、今季3回目の全日本選手権エントリーとなるヘイキ・コバライネン/北川紗衣組(GREAT DRIVE SARD GT86 R3)がスタートランプに登場すると、より一層のラリーファンの歓声とカメラフラッシュが焚かれた。ヘイキは「ラリー北海道に参戦できて嬉しい。ラリーをエンジョイするとともに出来る限りステージで良いタイムを出せるように頑張っていく」と抱負を語った。



北愛国交流広場のサービスパーク会場すぐ隣に設定されたオープニングステージとなるスーパースペシャルステージSS1：サミー・サツナイ1(1.47km)では、補助灯が点かず暗闇の中、慎重なドライビングを強いられてトップから2.4秒差の4位と出遅れてしまったものの、競技を無事にスタートし、まずは肩ならし。この日はSS1終了後そのままパークフェルメに入り車両保管となった。

## ■デイ1 B

24日(土)雨は上がったものの前夜の激しい雨でコースはヘビーウェットに。曇り空の気温17度の中、本格的なラリーが開始され、最初のSS2：イケダ1(12.37km)は唯一のターマックスステージ。レッキから各選手が鬼門となると言っていた様に、路面が昨日の雨で泥が大量にコースに流れ出て両脇に溜まり木の枝や落ち葉も混ざって非常に滑りやすくなっていた。ヘイキは滑りやすい路面にステアリングと格闘しながら慎重なドライビングであったが、マッディでスリッパリーな低速の右コーナーで足元をすくわれ左後部をガードロープの支柱にヒット。その反動で反対側にスピン、コースオフ。ダメージが足回りにまで及んでしまい自走不可となり、まさかのアクシデントによって、デイ1 Bからの撤退を余儀なくされてしまう結果に。サービスパークに運ばれて戻ってきたクルマのダメージは酷かったが、千葉トヨペット株式会社様からの派遣メカニックも含めたチーム総出の懸命なリペア作業により、ヘイキも最後の撤収まで見守る中、約5時間でGREAT DRIVE SARD GT86 R3のリペア作業を完了してみせた。



## ■デイ2

25日(日)は曇空から爽やかに晴れていく天候となり気温は17度から25度へ。デイ1で撤退となったため、総合順位はつかないが、「各SSでステージウインを狙っていくよ」と気持ちも新たにしたヘイキが朝の15分サービスDを終えて、デイ2最初のSS12に向かっていった。



森の中の高速かつ低速パートのあるテクニカルな林道を駆け抜けるSS12：オトフケ・リバーズ1(6.12km)では、少しマッディなコースを正確なステアリング捌きでクリア。総合7位クラス2番手ステージタイムをマークした。続く、高速コースのSS13：ニュー・ホンベツ1(11.77km)では豪快な高速ドリフトを披露して再び総合7位クラス2番手ステージタイムをマークしてみせた。いよいよ本領を発揮となってきたヘイキは、約29kmにも及ぶロングステージのSS14：ニュー・アショロ・

ロング1(29.11km)では、華麗なドライビングで途中のラジオポイント間でトップを上回るタイムで駆け抜ける速さを披露。だが前走車JN-6クラスの車両火災トラブルによりステージキャンセルとなってしまう、ノーショナルタイム(一律タイム)が与えられることに。そして、SS12のリピートで午前中最後のステージとなるSS15：オトフケ・リバーズ2(6.12km)では、トップ柳澤選手に僅か0.7秒差に迫る総合6位クラス2番手ステージタイムで気を吐いた。午後のSS16：サミー・サツナイ3(1.47km)は、直前の昼のサービスEにてクルマに不具合が見つかり出走せず。ヘイキ・コバライネン/北川紗衣選手組(GREAT DRIVE SARD GT86 R3)は、デイ2で3つのステージセカンドベストをマークするなど、北の大地でFR車のGREAT DRIVE SARD GT86 R3を豪快に操って華麗な走りを披露した。



残り2つの全日本ラリー選手権は、ターマックラリー。ヘイキの舗装路でのパフォーマンスに大きな期待がかかるとともに非常に楽しみな2戦。次戦JRC第8戦「第44回M.C.S.C.ラリーハイランドマスターズ2016 Supported by Sammy」(10/14-16開催)で雪辱を果たすべく、参戦準備を進めていく。

## ■ヘイキ・コバライネン コメント

「ラリー北海道を本当に楽しみにしていて、事前テストで手応えを感じていただけにSS2の自分のミスは本当に自分に腹立たしい。瞬間的に滑ってハンドブレーキで対処したが為す術は無かった。ほんの少し右にラインを取ってればよかったよ。その後のメカニック達のリペアには本当に感謝している。酷いダメージを負っていたから復活できるか心配でずっと一緒に終わるまで見守っていたけどデイ2を走れるまで修復してくれた。感謝の気持ちで一杯だったから、デイ2は走り感謝の意を表したくて力の限りを尽くしたよ。前回のラリーからヤナギサワ選手との差を詰めるべく努力してきたけど、その結果がタイムに現れてきていると思う。僕らは毎戦の様に進歩してきているのを感じる。ステアリング操作は忙しいけど86は乗っていて本当に楽しくて一体感を感じられる良いクルマ。残り2戦は、フラットアウトのマキシマムアタックでターマックラリーを楽しみたい。そして最後までファンの声援に応えられる走りを見せたいね」



## ■情報参照先

- ラリー北海道ウェブサイト : <http://www.rally-hokkaido.com/jp>
  - 全日本ラリー選手権（JRCA） : <http://www.jrca.gr.jp>
  - ラック公式ウェブサイト : <http://www.luck.co.jp>
  - サード公式ウェブサイト : <http://www.sard.co.jp>
  - SARD Racing YouTube動画チャンネル : <http://goo.gl/hUPUfu>
  - SARD Facebook : <https://www.facebook.com/SARD.Corporation>
  - SARD Twitter : <https://twitter.com/LEXUSRACINGSARD>
- 本件に関するお問い合わせ先：サード広報担当：宮本 e-mail: [media@sard.co.jp](mailto:media@sard.co.jp)